

【平成 24 年度・マクロ経済学 I・課題 4】

☆ 締め切り：平成 24 年 7 月 9 日 講義開始時

【問 1】ある経済が閉鎖経済で、民間部門および政府部門によって構成されている。また、次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられている。これらについて後の問に答えなさい。

$$\text{消費関数: } C = 30 + 0.5Y$$

$$\text{独立投資: } I = 20$$

$$\text{政府支出: } G = 10$$

但し、 C は消費支出、 I は投資支出、 Y は総所得であるとする。

- (ア) 基礎消費はいくらになるか、また限界消費性向(MPC)はいくつであるか特定しなさい。
- (イ) この経済の総需要(AD)を表わしなさい。
- (ウ) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。
- (エ) この経済の潜在生産高が200であったとする。このとき、市場は程度、超過需要(インフレギャップ)もしくは超過供給(デフレギャップ)があるか？
- (オ) 今、政府が建築業を通し公共事業を行い $G' = 18$ に上昇した。この新しい政府支出を受け取った建築業者の消費の伸びはいくらになるか？
- (カ) (オ)の政府支出の下での新しい均衡国民所得はいくらになるか計算しなさい。
- (キ) この経済における単純乗数はいくつか示しなさい。

【問 2】次の将来価値もしくは現在価値を求めなさい。現在→近い将来→遠い将来が時間軸に存在するとする。

- (1) 現在、10 万円を一般的利子率 3%で運用した場合の 2 期後(遠い将来)の将来価値はいくらになるか。
- (2) 2 期後(遠い将来)16 万円の現在価値はくらになるか。但し一般的利子率は 2%であるとする。
- (3) 現在 17 万円運用し(- 17 万円)、1 期後(近い将来)に 10 万円、2 期後(遠い将来)に 8 万円受け取るとすると、このキャッシュフローの現在価値の合計はいくらになるか？